

Sun Java Enterprise System 6 の新機能

2009 年 4 月

このドキュメントは Java ES チームによって管理されています。

Sun Java Enterprise System (Java ES) 6は、以前の Java ES リリースと比べていくつかの機能が改善されています。しかし、Java ES 6には、変更されずに引き継がれた機能や特質があるということもまた重要です。Java ES 6は、以前の Java ES リリースと同様に次の特長を備えています。

- 所有コストを削減し、ライセンストラッキングと管理を簡略化するサブスクリプションベースの料金体系
- 中小企業から大企業まですべての企業のニーズに対応できる、幅広い種類のサービス
- さまざまなインフラストラクチャーニーズに対応可能なソフトウェア製品群
- 特殊なビジネスニーズにも対応可能な機能を備えたスイートセット
- 複数のオペレーティングシステムやさまざまなシステム仮想化テクノロジーに対応

Java ES 6の新しい機能および特質には、次のものがあります。

- [2 ページの「新しいソフトウェア製品と既存製品の新バージョン」](#)
- [2 ページの「新しいインストール方法」](#)
- [3 ページの「幅広いプラットフォームでの相互運用性テスト」](#)

新しいソフトウェア製品と既存製品の新バージョン

新しいテクノロジーとツールに対応するため、Java ES 6では、以前の Java ES リリースに含まれていた一部の製品が差し替えられています。

- Sun Java System Portal Server の代わりに、Sun の次世代ポータルサーバープラットフォームである GlassFish Web Space Server が導入されました。Liferay オープンソースポータルプロジェクトに基づいた GlassFish Web Space Server を使用することにより、大企業や中小企業はさまざまな Web ベースソースや内部ソースから集めたアプリケーションとコンテンツを、統合されたカスタマイズ可能なポータルとして Web ブラウザ、キオスク、およびモバイルデバイス上に表示できます。
- Sun Java Studio Enterprise と Sun Java Studio Creator の代わりに、ソフトウェア開発者向けの優れたオープンソース統合開発環境である NetBeans が導入されました。プロフェッショナルデスクトップ、エンタープライズ、Web、およびモバイル用の各アプリケーションの作成に必要なツールはすべて揃っています。また、Java 言語、C/C++ のほか、PHP、JavaScript、Groovy、Ruby といった動的言語も使用できます。

以前の Java ES リリースに含まれていた一部の製品は、Java ES 6 で新バージョンが導入されています。

- Solaris Cluster (以前の Sun Cluster)
- Sun GlassFish Enterprise Server (以前の Sun Java System Application Server)
- Sun OpenSSO Enterprise (以前の Sun Java System Access Manager)
- Sun Java System Directory Server Enterprise Edition
- Sun Java System Message Queue
- Sun Java System Web Server
- Sun Java System Web Proxy Server

新しいインストール方法

以前の Java ES リリースでは、Java ES コア製品に共通のインストーラが使用されていました。この共通インストーラは、シンプルな単一システムをインストールする場合などに適していましたが、欠点もいくつかありました。

- 実行するにはスーパーユーザーとしてのアクセスが必要となり、インストールしたソフトウェアにはスーパーユーザー所有権が付与された。
- 1つのシステムにつき1つの製品インスタンスしか許可されなかった。
- ネイティブパッケージのソフトウェアディストリビューションしかサポートされていなかった。

Java ES の堅牢性の高いエンタープライズ対応の配備では、このような欠点が、インストールタスクを必要以上に複雑にしてしまうことがよくありました。

Java ES 6 では、この共通インストーラが廃止され、代わりに Java ES の各製品のインストーラが使用されています。各製品のインストーラは、その製品の機能に合わせて調整されているため、インストールエクスペリエンス全体が以前のリリースよりもスムーズになりました。

幅広いプラットフォームでの相互運用性テスト

信頼性、柔軟性、迅速な統合といった中小企業や大企業のニーズに対応するため、Java ES では、その最初のリリースからずっと、幅広いプラットフォームでの相互運用性テストを実施しています。

Java ES 6 では、このテストの対象範囲が以前のリリースよりも拡大しました。

- より多くの製品を対象とした厳しい互換性/相互運用性テスト (Java System Suites と Java ES Base の製品を含む)
- より多くの製品機能を使用し、多くの共通配備シナリオを対象とした配備テスト
- より多くのプラットフォームを対象としたプラットフォームテスト (ネイティブと仮想化の両方)
- Solaris 10 Trusted Extension の Java ES サポートを検証するプラットフォームテスト

この広範囲にわたる Java ES テストは、個別の製品ごとの厳しいテストを終了したうえで実施されました。そのため、テスト対象は、製品の個別の機能が保証されているだけでなく、異なるビジネスニーズに合わせて設計された複数の配備で、さまざまなプラットフォーム上のほかの Java ES 製品に対する相互運用性も保証されています。

Copyright 2009 Sun Microsystems, Inc. All rights reserved. Sun Microsystems, Inc. は、この文書に記載された製品に含まれるテクノロジーに関する知的所有権を保持しています。特に、この知的財産権はひとつかそれ以上の米国における特許、あるいは米国およびその他の国において申請中の特許を含んでいることがあります。それらに限定されるものではありません。

U.S. Government Rights – Commercial software. Government users are subject to the Sun Microsystems, Inc. standard license agreement and applicable provisions of the FAR and its supplements.

この配布には、第三者が開発したソフトウェアが含まれている可能性があります。

本製品の一部は、カリフォルニア大学からライセンスされている Berkeley BSD システムに基づいていることがあります。UNIX は、X/Open Company, Ltd. が独占的にライセンスしている米国ならびに他の国における登録商標です。

sun、Sun Microsystems、Sun のロゴマーク、Solaris のロゴマーク、Java Coffee Cup のロゴマーク、docs.sun.com、Java および Solaris は、米国およびその他の国における米国 Sun Microsystems 社の商標、登録商標もしくは、サービスマークです。すべての SPARC 商標は、米国 SPARC International, Inc. のライセンスを受けて使用している同社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。SPARC 商標が付いた製品は、米国 Sun Microsystems 社が開発したアーキテクチャに基づくものです。

OPEN LOOK および SunTM Graphical User Interface は、米国 Sun Microsystems 社が自社のユーザおよびライセンス実施権者向けに開発しました。米国 Sun Microsystems 社は、コンピュータ産業用のビジュアルまたはグラフィカル・ユーザインタフェースの概念の研究開発における米国 Xerox 社の先駆者としての成果を認めるものです。米国 Sun Microsystems 社は米国 Xerox 社から Xerox Graphical User Interface の非独占的ライセンスを取得しており、このライセンスは、OPEN LOOK のグラフィカル・ユーザインタフェースを実装するか、またはその他の方法で米国 Sun Microsystems 社との書面によるライセンス契約を遵守する、米国 Sun Microsystems 社のライセンス実施権者にも適用されます。

本書で言及されている製品や含まれている情報は、米国輸出規制法で規制されるものであり、その他の国の輸出入に関する法律の対象となることがあります。核、ミサイル、化学あるいは生物兵器、原子力の海洋輸送手段への使用は、直接および間接を問わず厳しく禁止されています。米国の輸出禁止国へ輸出または再輸出すること、および米国輸出制限対象リスト（輸出が禁止されている個人リスト、特別に指定された国籍者リストを含むが、それらに限定されない）に指定された団体に輸出または再輸出することは一切禁止されています。

本書は、「現状のまま」をベースとして提供され、商品性、特定目的への適合性または第三者の権利の非侵害の黙示的保証を含みそれに限定されない、明示的であるか黙示的であるかを問わない、なんらの保証も行われぬものとします。

821-0008-10

Sun Microsystems, Inc. 4150 Network Circle, Santa Clara, CA 95054 U.S.A.

